

●首長の「責務」を考えるためのメモ

龍谷大学 土山希美枝

・地方自治法から

第二款 権限

第百四十七条 普通地方公共団体の長は、当該普通地方公共団体を統轄し、これを代表する。

第百四十八条 普通地方公共団体の長は、当該普通地方公共団体の事務を管理し及びこれを執行する。

第百四十九条 普通地方公共団体の長は、概ね左に掲げる事務を担当する。

- 一 普通地方公共団体の議会の議決を経べき事件につきその議案を提出すること。
- 二 予算を調製し、及びこれを執行すること。
- 三 地方税を賦課徴収し、分担金、使用料、加入金又は手数料を徴収し、及び過料を科すること。
- 四 決算を普通地方公共団体の議会の認定に付すること。
- 五 会計を監督すること。
- 六 財産を取得し、管理し、及び処分すること。
- 七 公の施設を設置し、管理し、及び廃止すること。
- 八 証書及び公文書類を保管すること。
- 九 前各号に定めるものを除く外、当該普通地方公共団体の事務を執行すること。

・政治倫理条例

法令に違反しない便宜供与などが問題となったことを契機として導入されることが多い。規制する基準の内容、資産公開制度、規定に反した場合の問責制度などがおかれ、疑いがおこった場合について、住民が調査や説明を請求する権利、審査会の開催などの設置が規定されています。

- ・ 首長と市政を考える

- － 市民の代表としての首長
- － 執行機関の長としての首長
- － 議会と首長との関係
- － 他の市町村と首長
- － 県と首長
- － 国と首長